

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 ・定時株主総会 3月31日  
・期末配当 3月31日

公告方法 電子公告により行います。

( 当社のホームページに掲載  
<https://www.utoc.co.jp/> )

事故、その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

( 電話照会先 ) ☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がない株主様は、当社が開設した特別口座の  
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 第155期 中間期 株主通信

2021.4.1 ~ 2021.9.30

# UTOC PRESS



モノを動かし、ミライをつくる。



株式会社 宇徳

〒231-0007  
神奈川県横浜市中区弁天通六丁目85番地  
TEL: 045-201-6931  
証券コード 9358



株式会社 宇徳



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により罹患された方々および影響を受けている皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈りいたします。

ここに当社第155期第2四半期における取組みおよび成果についてご報告申し上げますとともに、今後の見通しについてご説明申し上げます。

2021年11月

代表取締役社長 **田邊 昌宏**

## Q 当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から9月30日まで）の営業概況はいかがでしたか

A 当社グループを取り巻く事業環境は、世界的なコンテナ需給のひっ迫等により、京浜港コンテナターミナル（東京港・横浜港）では、配船スケジュールが乱れる等の影響が出たものの、建設機械の輸出については回復傾向が見られ、また、一般貨物トラックの輸送量も回復の途上にあります。その他、橋梁工事では老朽化による更新需要が堅調に推移しました。このような経営環境の中、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、物流やインフラを担う

社会的責任の観点から港湾、プラント・物流の幅広いフィールドで「モノを動かす」サービスの提供を継続した結果、営業収入は254億30百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は10億97百万円（前年同期は営業損失36百万円）、経常利益は12億38百万円（前年同期は99百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億29百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億4百万円）と、前年同期に比べ増収増益となりました。

## Q 通期の見通しはいかがですか

A 新型コロナウイルス感染症拡大による経済への影響が続く中、ワクチン接種の拡大等により徐々に経済活動の再開の動きも見られておりますが、収束の時期の予測は困難であり、将来見通しは不透明な状況が続いております。

これらの状況を考慮し、連結業績予想につきましては、2021年4月30日に「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を据え置くことといたしました。

## Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします

A 当社グループは、国内における新型コロナウイルス変異株出現などによる感染の再拡大を受け、9月より独自に「宇徳緊急対応宣言」を発出し、職場内における感染防止対策の徹底をしながら、オペレーションの継続に努めております。

残るものと予想されますが、当社グループは港湾、プラント・物流のフィールドで提供する「モノを動かす」サービスにさらなる磨きをかけ、社会に貢献してまいりる所存でございます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は依然として

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

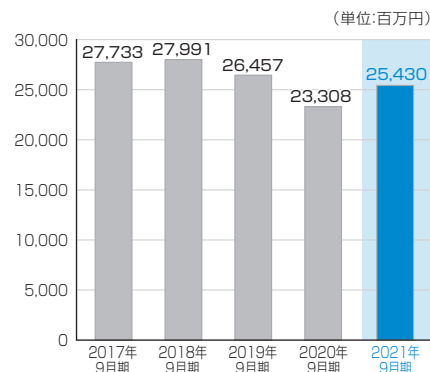
## 企業理念

1. 顧客のニーズと時代の要請に沿った高品質なサービスの提供を通じ社会に貢献し、企業価値の向上を目指します。
2. 社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、チャレンジ精神豊かな人間性を尊ぶ企業を目指します。
3. 全ての事業領域での安全確保の徹底と環境保全に努めます。

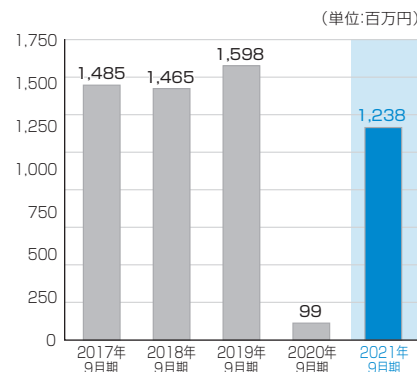
## 第155期 第2四半期ハイライト

営業収入	254億30百万円	前年同期比	9.1%
経常利益	12億38百万円	前年同期比	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	9億29百万円	前年同期比	—
1株当たり四半期純利益	21円48銭	前年同期比	—

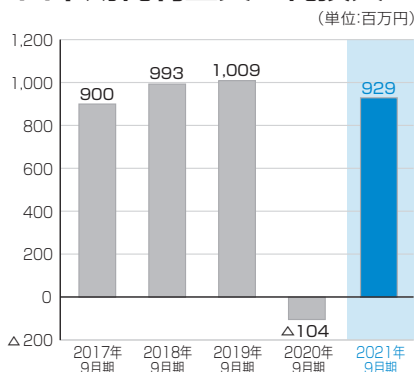
### 営業収入



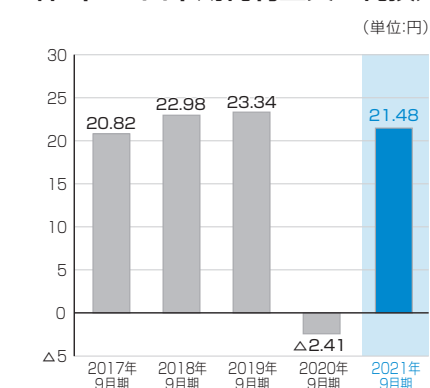
### 経常利益



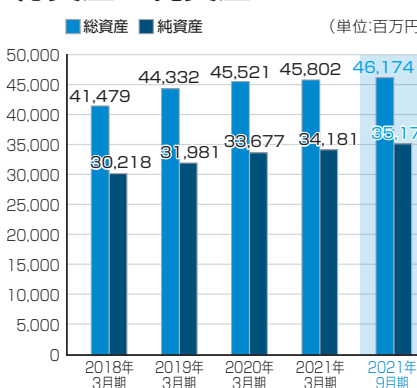
### 親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失



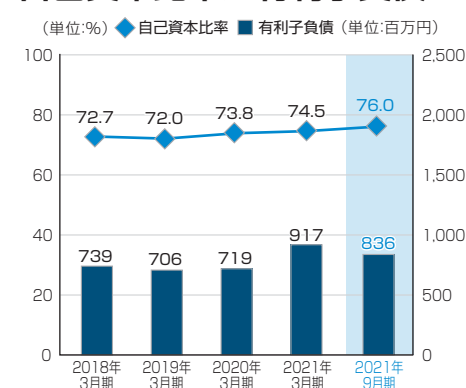
### 1株当たり四半期純利益又は純損失



### 総資産／純資産



### 自己資本比率／有利子負債



## 連結貸借対照表 (要旨)

科目	期別	前期	前第2四半期	当第2四半期
		2021年3月31日現在	2020年9月30日現在	2021年9月30日現在
<b>●資産の部</b>				
流動資産		26,324	24,507	26,629
現金及び預金		4,009	4,952	4,095
受取手形及び営業未収入金		11,829	9,308	—
受取手形、営業未収入金及び契約資産		—	—	10,729
その他		10,486	10,247	11,806
貸倒引当金		△ 1	△ 1	△ 1
固定資産		19,478	18,305	19,545
(有形固定資産)		(12,962)	(11,920)	(13,124)
建物及び構築物		5,238	5,006	5,421
機械装置及び運搬具		2,693	2,794	2,645
土地		3,849	3,070	4,202
その他		1,181	1,049	855
(無形固定資産)		(2,092)	(2,112)	(2,001)
(投資その他の資産)		(4,423)	(4,272)	(4,419)
投資有価証券		2,268	1,886	2,378
その他		2,784	2,843	2,476
貸倒引当金		△ 630	△ 458	△ 436
<b>資産合計</b>		<b>45,802</b>	<b>42,812</b>	<b>46,174</b>

(単位:百万円)

科目	期別	前期	前第2四半期	当第2四半期
		2021年3月31日現在	2020年9月30日現在	2021年9月30日現在
<b>●負債の部</b>				
流動負債		7,455	6,065	6,863
支払手形及び営業未払金		4,221	3,150	4,028
短期借入金		712	680	677
1年内返済予定の長期借入金		55	6	47
その他		2,466	2,228	2,110
固定負債		4,165	3,814	4,137
退職給付に係る負債		3,023	2,932	3,046
その他		1,141	882	1,090
<b>負債合計</b>		<b>11,621</b>	<b>9,880</b>	<b>11,000</b>
<b>●純資産の部</b>				
株主資本		32,902	31,974	33,600
資本金		2,155	2,155	2,155
資本剰余金		330	330	330
利益剰余金		30,446	29,519	31,145
自己株式		△ 30	△ 30	△ 30
その他の包括利益累計額		1,213	890	1,506
その他有価証券評価差額金		930	661	1,000
為替換算調整勘定		314	271	533
退職給付に係る調整累計額		△ 31	△ 42	△ 27
非支配株主持分		65	66	65
<b>純資産合計</b>		<b>34,181</b>	<b>32,932</b>	<b>35,173</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>45,802</b>	<b>42,812</b>	<b>46,174</b>

# セグメント別概況(連結)

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	前第2四半期	当第2四半期
		2020年4月1日から 2021年3月31日まで	累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業収入		48,722	23,308	25,430
営業支出		40,308	19,499	20,344
<b>営業総利益</b>		<b>8,414</b>	<b>3,808</b>	<b>5,085</b>
業務費及び一般管理費		7,959	3,844	3,988
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>		<b>454</b>	<b>△ 36</b>	<b>1,097</b>
営業外収益		255	146	156
営業外費用		35	11	15
<b>経常利益</b>		<b>674</b>	<b>99</b>	<b>1,238</b>
特別利益		755	73	117
特別損失		229	143	36
<b>税金等調整前 四半期(当期)純利益</b>		<b>1,200</b>	<b>29</b>	<b>1,320</b>
法人税、住民税及び事業税		420	205	312
法人税等調整額		△ 42	△ 72	78
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△)		823	△ 104	929
<b>親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)</b>		<b>823</b>	<b>△ 104</b>	<b>929</b>

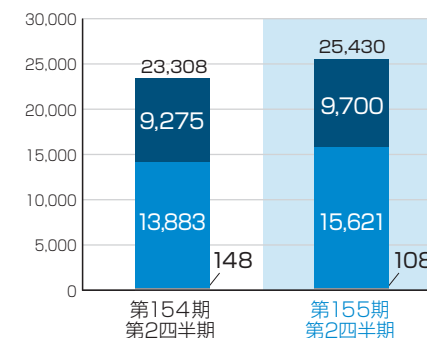
## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	前第2四半期	当第2四半期
		2020年4月1日から 2021年3月31日まで	累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		620	470	3,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 791	517	△ 2,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 667	△ 603	△ 346
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△ 66	△ 83	49
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△ 904	300	152
現金及び現金同等物の 期首残高		3,417	3,417	2,512
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		2,512	3,717	2,665

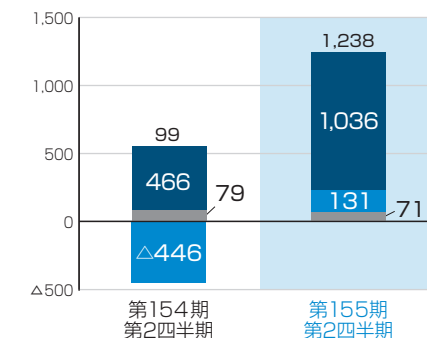
## セグメント別営業収入

■港湾事業 ■プラント・物流事業 ■その他 (単位:百万円)



## セグメント別経常損益

■港湾事業 ■プラント・物流事業 ■その他 (単位:百万円)



### 港湾事業



**営業収入**  
97 億円  
**経常利益**  
10 億 36 百万円

在来船関連は、部品供給問題により一部の完成車出荷に影響がありましたが、コロナ禍により減少していた完成車および建設機械の取扱量が大幅に回復、コンテナ船スペース不足に伴う取扱貨物増も相俟って、在来船関連全体は増益となりました。コンテナターミナル関連は取扱量が減少しましたが、作業効率の改善により損益は前期並みとなりました。以上のことから、事業全体では増収増益となりました。

### プラント・物流事業



**営業収入**  
156 億 21 百万円  
**経常利益**  
1 億 31 百万円

国内プラント工事は、発電所関連作業が減少したことにより減収となりましたが、昨年度は、工事損失引当金を計上したため、減収増益となりました。海外プラント工事は、プラント建設工事や石化プラント定修工事等の実績を積み上げ、増収増益となりました。また、物流ではコロナ禍の影響を大きく受けていた一般輸出入貨物輸送が回復しはじめ、順調に取扱いを伸ばしたほか、物流倉庫においても主要顧客の取扱量が堅調に推移し、検品や配送等の付帯作業が増加しました。また過年度に貸倒引当金を計上した債権の回収が進んだことも損益の改善要因となりました。以上のことから、事業全体では増収増益となりました。

### その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。



## 横浜国際コンテナターミナルから 南本牧ふ頭コンテナターミナルに移転完了

4月、当社は(株)商船三井のターミナルオペレーターとして、横浜国際コンテナターミナルから南本牧ふ頭コンテナターミナル(以下、南本牧)に移転を完了いたしました。

南本牧は、増大するコンテナ取扱量や世界最大級のコンテナ船にも対応できる水深16~18m、総延長1,600mの高規格ターミナルとなっており、当社を含む元請5社による一体運営を行っています。

4月16日夜間、南本牧での荷役における第1船目ACX DIAMONDが煌々とした荷役機器の灯りの中入港し、緊張感が漂う中で荷役が行われ、作業は無事に終了いたしました。

これから、横浜港の新たな歴史を刻むべく、南本牧で同業他社と協力し合い、より安全で効率の良いターミナル運営を目指してまいります。



南本牧での接岸風景



## 新社屋建設を計画

当社は現在、横浜市中区海岸通の所有地に新社屋の建設を計画しております。

建設予定地は、みなとみらい線「馬車道駅」から徒歩3分の万国橋通り沿いに位置しており、新港地区を見渡すことができます。今後、周辺での大規模な開発が計画されており、変化が期待できるエリアです。

2022年10月に着工し、2024年2月竣工、同年4月より新社屋での営業開始を予定しております。



外観イメージ図



新港地区

みなとみらい21中央地区と関内地区との結節点に位置する、「島」としての独自の領域性を持つ近代港湾の発祥の地であり、赤レンガ倉庫をはじめとした歴史的資産や港が眺められるエリア

## レール削正車の陸上輸送・積み荷役・海上輸送・ 揚げ荷役を完遂

4月、当社はレール削正車3両の大黒ふ頭内の陸上輸送および内航船積み荷役、石狩新港への海上輸送と揚げ荷役を実施いたしました。

本作業は当初、大黒T-3バースにて他社による内航船積み荷役を行う計画をしておりましたが、車体最低地上高が15cmであり荷役が難しいことから、荷主との協議を経て、大黒T-3バースより当社専用バースである大黒L-5バースへ陸上輸送を行い、当社が2台のクレーンを用いて積み荷役を実施する計画に変更いたしました。

レール削正車は、1両あたり最大長さ約15m、幅約3m、高さ約4m、重量約54tになります。大黒L-5バースでの積み荷役では、数cm単位での調整を要し、繊細な作業が求められましたが、当社がこれまで培ってきた技術力を発揮し、作業は無事終了いたしました。

また、石狩新港での揚げ荷役は、朝から風速15m/sの風とみぞれが降り、コンディションが優れない状況下での作業となりましたが、全貨物を揚げることができ、計画通りに輸送を完遂いたしました。

今後も港湾保有施設と設備を有効に使い、お客様のニーズにあった輸送の提案が行えるよう、さらに経験を重ねてまいります。



大黒T-3バースから大黒L-5バースまで陸上輸送



大黒L-5バースにて積み荷役



レール削正車 走行しながらレールの表面を削る保守用車両

## トランスファークレーン2台を新たに導入

南本牧では、トランスファークレーン(以下、RTG)2台を導入いたしました。

本機は、メーカーの工場がある大分県から南本牧までの輸送を国際物流営業部重量物輸送チームの協力を得て実施し、7月10日に水切作業を終え、26日より稼働を開始いたしました。RTGは、最新鋭の運転アシストシステムを搭載し、走行路障害物センサー、各部へ多数のカメラを装備し安全性能にこだわりつつ、高効率な荷役作業が可能となっております。

また、8月24日には当社同様にRTGを導入した(株)グイートコーポレーションをはじめ関係者一同で新しいRTGが無事故無災害で活躍することを祈願いたしました。



稼働前のRTG

## 黄瀬川大橋 災害復旧工事を実施

8月、当社は黄瀬川大橋の災害復旧工事を実施いたしました。沼津市と清水町に架かる黄瀬川大橋は、7月に発生した東海地区の記録的な大雨により、橋脚4基のうち1基が損傷し、全長83mある橋の西側34m部分がV字形に崩壊しておりました。当社の施工内容は、旧橋梁の撤去および応急桁の輸送となり、「8月31日に仮橋で開通させること」を目標に準備を進めてまいりました。当社は8月3日より旧橋梁の8分割された歩道部および車道部を当社保有の多軸台車「スーパーキャリア」5軸タイプ

2台の上に積載し、仮置ヤードまで輸送。23日より仮置ヤードで地組みした4分割の応急桁をスーパーキャリア5軸タイプ4台に積載し、26日の昼夜で輸送作業を完了させました。大型クレーンで架設された応急桁は、30日までに付随工事を終え、31日に無事開通いたしました。今後も、社会や暮らしを支えるため、さらなる技術力の向上を目指してまいります。



V字形に崩壊した黄瀬川大橋



応急桁輸送の様子



## 国道2号 大樋橋西高架橋工事を完工

9月14日、当社は岡山県の国道2号 大樋橋西高架橋工事を実施いたしました。

本工事は、渋滞解消を目的に国道2号岡山バイパスのうち、岡山県南区古新田～大福地先における交差点立体化を行う工事です。

当社は、全長約64m、幅約18m、重量約670tの橋脚付き箱桁を当社保有の多軸台車「スーパーキャリア」2列編成に積載し、昇降ジャッキ「スーパーテーブルリフト」にてリフトアップした状態で約90m輸送しました。

橋脚付きの箱桁を基礎部分に固定し、輸送・架設を行う難易度の高い工事でしたが、当社の熟練した技術を活かし、工事は無事完工いたしました。



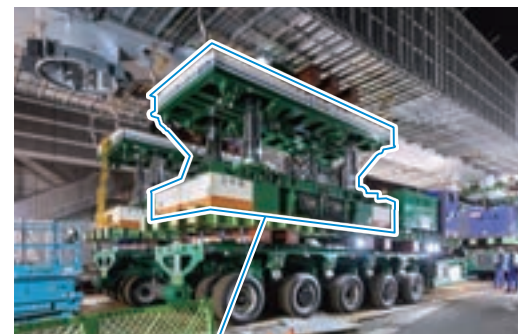
箱桁を2列編成で輸送する様子

### 機材紹介



#### スーパーキャリア

重量物輸送に最適な特殊車両。3～5軸車を組み合わせた編成、全車の一括オペレーションによる同調運転、全方向への進行可能など、さまざまな特長を活かしてあらゆる形状の重量物輸送を可能にしています。



#### スーパーテーブルリフト

スーパーキャリアとの連動による橋梁の架設・撤去用に開発されたジャッキ装置。1台あたり250tの昇降能力を有し、最大2.2mのストロークで多種多様な作業が可能です。

## 会社の概況 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社宇徳  
 本社所在地 神奈川県横浜市中区弁天通六丁目 85 番地  
 創業 1890年(明治23年)3月1日  
 設立 1915年(大正4年)12月8日  
 資本金 21億5,530万円  
 従業員数 1,657名(連結)  
 主要な事業内容 港湾運送事業、海上運送事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、通関業、建設業、不動産業

役員	代表取締役社長	田邊昌宏
	代表取締役専務	小川宏
	代表取締役専務	康岡卓
	常務取締役	佐々木敏幸
	常務取締役	鍋田康久
	常務取締役	赤羽正光
	取締役	片野英明
	取締役	上田裕
	取締役	戸石尚
	取締役	石川敬一郎
※1	取締役	中井元
※1	取締役	田中庸介
	取締役	高松泰則
	常勤監査役	飯田知己
※2	常勤監査役	津田昌明
	監査役	武田俊明
※2	監査役	河合千尋

(注) ※1は、社外取締役であります。 ※2は、社外監査役であります。

宇徳グループ 19社  
 宇徳ロジスティクス(株) 宇徳流通サービス(株) 九州宇徳(株)  
 宇徳通運(株) 宇徳プラントサービス(株) 宇徳港運(株)  
 宇徳トランスネット(株) ターミナル・エンジニアリング(株)  
 宇徳ターミナルサービス(株) (株)宇徳ビジネスサポート  
 アジアカーゴサービス(株)  
 UTOC AMERICA, INC. ASIA UTOC PTE. LTD.  
 UTOC (THAILAND) CO., LTD. 宇徳物流 (天津) 有限公司  
 UTOC MULTIPACK MYANMAR CO., LTD.  
 UTOC ENGINEERING PTE. LTD.  
 UTOC PLANT CONSTRUCTION SDN. BHD.  
 UTOC ENGINEERING & MAINTENANCE SDN. BHD.